

2021年度 学校自己評価シート (慶應義塾志木高等学校)

目指す学校像	独立自尊の気風を養い、自主性のある、品格の高い、明るい塾生を育成する教育を行う。
--------	--

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 基礎的な学問の習得 2 個性と能力をのばす教育 3 学校行事とクラブ活動の充実 4 開かれた学校づくりの推進
------	---

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇談会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	6名
	事務局 (教職員)	1名

学校自己評価				
2021年度 目標			2021年度 評価 (2022年3月31日現在)	

番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	将来、社会の各分野で先導者として活動するため、また慶應義塾大学に進学する前段階として基礎的な学問を習得させ、学問・研究の必要性を理解させるとともに、自主的に学習するよう指導する。特に大学一般教育課程に応じた学習指導に留意し、学力の全体的向上を図る。	基礎的な学問を習得させ、学問・研究の必要性を理解させるとともに、自主的に学習するための指導の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科部会におけるきめ細かい指導方針の確立と実践 ・必修科目、選択科目、多様な語学科目を充実させ、幅広い学問的好奇心等の要求に対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科責任者会議において情報共有化と学習指導方針の摺り合わせを図る。 	<p>【基礎的な学問の習得】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学年・全教科において、特に対面授業が制限されていた期間、Google Classroom (Googleが提供するオンライン学習システム) 及び本校ウェブサイトを利用して、課題の提示・指導・回収、授業内容の補足等を行うように努めた。 ・対面授業開始後も連絡、アンケート実施などのツールとしてGoogle Classroom を残した。 <p>【必修科目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人に教員の目が届くと同時に、生徒同士の多様な「交際」の場も確保するため、2年生のクラス編成を従来の6クラスから8クラスに変更し、1クラスあたりの人数を30～31名とした。 ・生徒・教員ともにアンケートを実施し、少人数適正規模教育の有効性を確認できた。 ・2年の現代文Aでは、近代文学を思想史・政治史と関連させて同時代を多角的に考察した。 ・2年の世界史B (4クラス) では、Power PointやGoogle Classroomの積極的活用を通して、生徒の歴史への関心惹起と行動変化 (自発的に関連書籍やその抜粋を読む等) に成功した。 ・3年の日本史B (4クラス) では、レポート課題を通して、国内に残る歴史的な文化財について、主体的に考える機会を提供した。 ・3年生の日本史B (2クラス) では、通常授業に加えて、Google Classroomを活用した課題によって基礎知識の定着を図った。本校図書館のリザーブブックコーナーも活用して、参考文献の紹介にも努めた。また「ヴァーチャル古地図散策」と題して、コロナ禍以前より実施している古地図散策のレポート課題を部分復活させ、身近な地域に根ざした歴史についても主体的に考える機会を提供し、特設コーナーの設置など本校図書館の協力を仰ぎつつ、各種文献や関連サイトの利活用を促した。 ・3年生の政治・経済 (2クラス) では、通常授業に加えて、Google Classroomを活用した課題によって授業内容 (メディア論・功利主義など) への主体的な取り組みを促すとともに、基礎知識の定着を図った。本校図書館のリザーブブックコーナーも活用して、参考文献の紹介にも努めた。 ・数学教育に関して、2009年度より高大連携教育の一環として行なわれている、本塾大学理工学部の数学の授業 (学部1年生対象) が聴講できる制度は、新型コロナウイルス感染症拡大を受け、今年度は実施されなかった。 ・2014年度より高大連携教育の一環として行われている、本塾大学文学部日吉キャンパス設置科目 (一部) が履修できる制度は、新型コロナウイルス感染症拡大を受け、今年度は実施されなかった。 <p>・2011年度より理科教育の一環として長野県諏訪市～新潟県糸魚川市周辺において、水質調査やジオパークの見学等、生物・化学・地学・物理の実習を行なっている。しかし、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、吉見百穴、荒川河川敷の日帰り地学研修、物理・化学・生物の学校における実験、講義を1日かけて実施した。</p> <p>・2012年度より、3年生物の授業 (単元：進化と系統) の一環として、校内自然観察会のインストラクターを希望した生徒への集中講座と観察会におけるインストラクションを実施してきた。しかし、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大を受け、自然観察会自体を開催中止とした。</p> <p>・継続しているオンライン多読システムに加えて、語学教室に新たに1400冊強の洋書を配架した。生徒個人の能力と多読の経験に沿ったより適切な本の案内が可能になった。多読での読書量が多い生徒の方が英語力は早く、かつ大きく伸びる傾向にあることを確認した。</p> <p>・『樺』第30号を発行して、部活や生徒会などの活動報告および授業などで作成した作品やレポートの発表の場を生徒に提供し、教員はその指導を行なった。</p>	B	<p>←各部会ごとの達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒側の多様な通信環境に配慮しつつ、オンライン授業の可能性について一層検討する。 ・継続的な資料収集・調査などの教材研究を行なう。

学校関係者評価	
実施日	2022年5月7日
学校関係者からの意見・要望・評価等	

<p>Google Classroomを使用することにより、学習も継続でき、コミュニケーションも取れた為、コロナ禍でも不便はありませんでした。対面困難な場合に備えて、様々な検準準備をいただき、感謝しています。</p> <p>オンライン以降もGoogle Classroomを使用することは重要事項を把握する手段として便利だったと聞きました。Google Classroom は、連絡用ツールとしてとても便利で、重宝しています。ただし投稿に気がつかない生徒もいるようです。新しい投稿がありますや、Google Classroomで課題を出します、という旨を対面授業中に伝えることを徹底して頂けると良いと思います。</p> <p>少人数になることで、授業への積極的な参加がより一層できるようになったようです。また、親睦も深めやすく、良いと思います。</p> <p>世界史Bの授業は、興味が湧くようとても工夫されており、魅了される講義だったということです。受験のための勉強ではなく、学ぶ楽しさや魅力を感じられる授業を受講できることが、慶応志木高等学校の醍醐味であると思います。</p> <p>本年度は新型コロナウイルス感染症対策を十分留意し、授業聴講が実施されることを切に願っておりますが、実施されない場合はオンラインなどでの対応をお願い申し上げます。既に高大連携教育として、大学授業の聴講は再開されていますが、一貫校ならではの高校生の向学心、興味分野を刺激する良い取り組みですので、理系文系問わず、拡充をお願いします。</p> <p>コロナ禍の中、可能なことを追求いただき、感謝いたします。可能であれば、平時での課外授業をほとんど受けられなかった現3年生に実行できなかったあるいはそれに類する課外授業の機会を今後提供いただけると良いと思います。</p> <p>本年度は新型コロナウイルス感染症対策を十分留意し実施されることを切に願っておりますが、実施されない場合はオンラインなどでの対応をお願い申し上げます。大学ではオンライン授業のシステムが整っており、実際にオンライン授業も多いと聞いております。中止ではなく、せめて志木校の情報処理室のみでも良いので、視聴できるようにしていただきたいです。今年度は大学へ行かれるかもしれないとのことですが、対面以外にもオンライン受講も選択できると良いと思います。ご検討よろしく申し上げます。</p> <p>例年の理科研修旅行の代案として、日帰りでの地学研修等を準備実行して下さり、本当にありがとうございました。この学年は高校入学時からコロナの影響があり、入学式、1年次研修旅行、文化祭や体育祭等々何もなく過ぎていました。初めて高校の仲間での外出はとても楽しく、思い出ができました。コロナ対策が大変だと思いますが、子供の健全な高校生らしい成長のために、なるべく多くの通常に近い経験ができるよう、お願いいたします。</p> <p>「樺」の活動報告や生徒の作品、レポートなど毎年楽しく拝見しております。今後も継続をお願い申し上げます。自主的な取組を自主的に表現する場を与えるという観点で継続して実施してください。</p>

学 校 自 己 評 価					2021年度 評 価 (2022年3月31日現在)		
2021年度 目 標					2021年度 評 価 (2022年3月31日現在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	
					<p>【学問・研究の必要性】 【選択科目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文学特論では、エンターテイメントを文学史・哲学史と接続することで総合的に把握した。 ・社会Aでは、日本美術史をテーマに、仏教美術の基礎知識や美術作品の見方を学び、口頭発表と研究レポートの作成に取り組んだ。12月にはセントリー美術館（六本木）で開催された展覧会「聖徳太子 日出づる処の天子」の見学会を実施。古代・中世に遡る宗教美術を実際に鑑賞する機会も設けた。 ・英語Aでは、様々なメディアを通してアメリカの文化・歴史・言語への理解を深めた。 ・英語Bでは、「トラッドジャパン」というテレビ番組のビデオを使って、日本の文化について英語で学んだ。侍、歌舞伎、柔道、永平寺などについて学んだが、英語で演じられる落語をビデオで鑑賞するなど興味深く学習することが出来た。日本人講師と英国人コメンテーターの会話もとても今日、興味深く、より深い学習となった。 ・英語Cでは、『不思議の国のアリス』を英語で読み、翻訳についても議論することで日英の両言語文化に関して理解を深めた。 <p>【総合的な探究の時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・24言語の「ことばと文化」を通して、各国の文化、伝統や言語を学ぶ機会が多くあった。 <p>【語学課外講座】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単位とは関係のない語学課外講座においても、履修者数は7限130名、8限78名で約18%の生徒が学びを深めた。 <p>【全体的な学習環境の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例年、本校主催による学部説明会や、本塾大学各学部主催による説明会・見学会や模擬授業が実施されているが、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、多くがオンライン・オンデマンドなどのスタイルに変更された。 ・『志木高案内』2021年度版を新規に作成し、生徒の学校生活における利便性の向上に努めた。 ・「災害対応に関する教職員マニュアル」2021年度版を整備し、緊急対応の体制を充実させた。 ・『研究紀要』第52輯、『ことばと文化』第26号を発行し、教育・研究の発表の場とした。 		<ul style="list-style-type: none"> ・各講座の特徴をより効果的にアピールし、総合的な探究の時間では様々な未知の言語・文化との出会いを、課外講座ではより専門的なことがらにふれる機会を提供する。 ・卒業後の進路について考える機会を増やす。
2	現在の生徒数による教育の長所を生かし、教員と生徒との人間的接触につとめながら個性と能力をのばす特色ある教育を行う。	教員と生徒との人間的接触につとめながら個性と能力をのばす特色ある教育の実践	・精神面においては、クラス担任のみならず全教職員、医師、スクールカウンセラーによるきめ細かい指導の実践	・教員会議において生徒の現況の情報共有化を図り、と協体制を構築する。	<p>【特色ある教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2012年度からオーストラリアのToowoomba Grammar School、2014年度から台湾のWego Private Bilingual Senior High School、2015年度からフィンランドのLuostarivuoren Lyseon Lukioとの国際交流（短期交換留学）を実施しているが、今年度は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大を受け、全ての交流事業を中止した。 ・アメリカ、ハワイ州のPunahou SchoolにおけるSGLI (Student Global Leadership Institute) は、現地でのワークショップは中止になったものの、参加予定だった生徒3名は国内で活動を継続し、2021年12月の第131回志木演説会後にZOOMを通して成果報告を行なった。 <p>【ストレスケア】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例年、教職員・医師（校医、精神科医）・カウンセラーらがチームとなって、様々な問題を抱えている生徒に対応している。 ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、生徒の心身への影響が懸念される中、夏季休業中のカウンセリングルームの開室日数を増やし、緊急事態にも対応できるよう配慮した。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・Toowoomba Grammar School、Wego Private Bilingual Senior High School、及びLuostarivuoren Lukioとの国際交流事業の再開に向けて検討を行なう。 ・SGLIを通じて、英語が得意な生徒の意欲・能力をさらに高める。 ・本校生徒にみられる精神的成長（その過程で生じる不安感や悩みなども含む）の特徴を調査・分析し、今後の教育活動に活かす。

学校関係者評価	
実施日	2022年5月7日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
	<p>自分の学びたい言語を学べるシステムができると、もっと良いかと思います。知らない文化・言語を学ぶ機会があり これからの人生、何かしらの役に立つと思います。社会人になってから 振り返って人生のプラスになると思っていますので これからも期待しております。当校ならではの特色ある良い講座だと思います。生徒の受講希望に対して、極力沿うような努力をお願いします。</p> <p>学部選択は、理系に進むなら2年生の選択科目の選択時に最初の分岐点があります。ですから、大学の学部説明会等は1年生から希望制でも良いので、受けられるようにして欲しいです。学部説明会や見学会に参加することで、高校での学習の意欲が湧いたり、実際に勉強しないとこのままでは成績が足りないとか分かったり、伸びるための時間が確保できると思います。3年生になってからだと少し遅いように感じています。本年度はオンラインではなく、感染対策を十分留意しながら、大学主催の見学会や模擬授業を是非とも実施していただきたいです。大学へ進学して改めて志木高で学び体験したことの価値に気づくことができ大変感謝しており、大学の学部選択やその先の職業選択について、高校の早い段階から見聞きできる機会があればより将来への考えを深めることができると思います。</p> <p>便利に参照しています。引き続きよろしくをお願いします。年間予定表をはじめ、学校生活を知ることができるので親も活用できよかったですと思います。</p> <p>あらゆる組織で共通の課題ですが、形骸化しやすい一方で必要な分野ですので、形骸化しないような工夫をお願いします。昨今、水害、地震、大型台風等災害が増えているように感じます。定期的に災害対策をアップデートしていると知り、安心しました。ありがとうございます。引き続きよろしくお願いします。</p> <p>ことばと文化の最新刊には、志木校を去られた中地先生の発表が掲載されていました。息子は中地先生が大好きで、とても尊敬しているので、喜んでいました。</p> <p>オンラインでもイベントがあった方が興味のある生徒の励みになると思いますが、リアルな世界での経験の方がより価値があると思いますので、海外交流の再開に向けて検討をお願いします。</p> <p>利用しやすい環境が整っており、安心できます。保健室に養護教諭ではなく校医の先生がいて下さるので、利用した際には適切にその場に対応していただけました。校医の先生が保健室にいることは、慶応志木高校のアピールポイントになると思います。</p> <p>教育一貫校ならではの繋がりを大切にしたいと考えております。同窓会やホームカミングデイ等で卒業生が集まる機会をぜひ復活していただきたいと願っております</p>

学 校 自 己 評 価					2021年度 評 価 (2022年3月31日現在)		
2021年度 目 標					2021年度 評 価 (2022年3月31日現在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	
3	生徒を多様な学校行事とクラブ活動等に参加させることにより、良好な人間関係や規範意識を育成し、積極的に心身の健康の増進を図り、リーダーシップを培う教育を行う。	生徒が自主的に学校行事、各人に適したスポーツ、アート、リサーチ、各種のプロジェクト等に参加するための指導の実践	・学級担任会、生活委員会、体育部会・文化部会等においてきめ細かい指導方針の確立と実践 ・学校行事、体育系・文化系クラブ活動の選択肢の充実	・HR活動、生徒会活動、体育系・文化系クラブ活動においての適正な指導を図る。	<p>【多様な学校行事】</p> <p>・生徒向けにBLS講習会を実施し、日常生活の中での健康危機に即座に対応できるように努めた。</p> <p>・例年、学校行事を催すにあたっては、生徒の自主的な活動をサポートする形で、自己表現と団結の時間・場所を共有することに努めている。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を鑑み、収穫祭（文化祭）は生徒のみで開催した。なお、オンラインでの公開も併せて行った。</p> <p>・例年より規模は縮小したが、感染対策を行いながら運動会を実施した。</p> <p>・1、2年生は、マラソン大会の代替行事として、体育の授業内にクラスごとに3,000Mのタイム計測を行い、学年ごとに集計をした。また、上位20名に記念品を配付した。</p> <p>・感染対策を行いながら、7月と11月にクラスマッチを実施した。</p> <p>・9月に東北への見学旅行を計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から県外への旅行は取りやめ、急遽計画を変更して秩父への日帰り旅行として実施した。浦山ダム・橋立鍾乳洞・三峰神社を訪れ、体験を通して自然・社会・歴史への理解を深めた。</p> <p>・7月、社会学者・大学院大学至善館教授である橋爪大三郎氏を招いて、第130回志木演説会を開催した。新型コロナウイルス感染症の影響で、当初予定していた三田キャンパスでの講演ではなく、オンラインによる講演を実施した。当日は各HR教室でZOOMにて「宗教で読み解く世界」という演題でご講演いただいた。</p> <p>・12月、国際医療福祉大学医学部教授・同市川病院病院長である大谷俊郎氏を招いて、第131回志木演説会を開催した。新型コロナウイルス感染症の影響で、7月と同様にオンラインによる講演を実施した。当日は各HR教室でZOOMにて「スポーツ医学講座—スポーツ医学と「三つの宝」—」という演題でご講演いただいた。今年はコロナ禍の中、東京でオリンピック、パラリンピックが開かれ、日本選手の大活躍は記憶に新しいところだったこともありスポーツ医学のお話をしていただいた。</p> <p>【生徒会活動】</p> <p>・生徒会活動の一環として、正門前や校内で「緑の羽根募金」を新型コロナウイルス感染症対策を行いながら実施した。</p> <p>【クラブ活動】</p> <p>・新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、今年度、クラブ活動は大きく制限せざるを得なかった。保健室のアドバイスを得て、感染予防を第一にしつつ、各クラブの特性にも配慮しながら、可能な活動のあり方を模索した。</p> <p>・水泳部が関東高等学校水泳競技大会に7名出場した。</p> <p>・水泳部が全国高等学校水泳競技大会に1名出場した。</p> <p>・端艇部が関東高等学校ボート大会において男子シングルスカル・同舵手付きクォドルブルの種目でそれぞれ準決勝に進出したほか、第76回国民体育大会関東ブロック大会に3年生1名を埼玉県選抜選手として派遣し4位に、また、北信越総体2021（インターハイ）に男子舵手付きクォドルブルの種目で埼玉県代表として出場して準々決勝進出の戦績を収めた。</p> <p>・スキー部が、関東大会（大回転）に出場の予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、大会が中止となった。</p>	B	<p>・健康管理を徹底する。</p> <p>・体育行事については、社会状況を注視しつつ、保健室と連携して実施可能な形態について検討する。</p> <p>・収穫祭については、生徒の自主性を尊重しつつ、開催のあり方についてあらためて検討する。</p> <p>・社会状況の変化に応じて、その都度、可能なクラブ活動のあり方について引き続き検討する。</p> <p>・各クラブ活動の様子をウェブサイトなどに掲載し、情報を充実させる。</p>

学校関係者評価	
実施日	2022年5月7日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<p>確か一年生のみの受講だったように思います。とても為になったのですが、時間と共に記憶が薄れています。可能でしたら、全学年でBLS講習会を行っていただきたいです。ご検討よろしく願います。</p> <p>2名一組でチームを組み、実際に学べたことは これからの人生で役に立つことだと思います。時間を作ってくださったことに感謝いたします。</p> <p>生徒のみでしたが収穫祭を開催していただけて良かったです。ありがとうございます。高校生にとって文化祭は最大の校内行事かと思います。外部からの来校者がいることで盛り上がるという一面も大いにあると思いますので、定員制、例えば生徒一人につき二枚の招待状など、にして少しでもお客さんをお迎えして、生徒達が全力で取り組み、生涯の思い出にできるような収穫祭にさせていただけるよう、切に願います。</p> <p>文化祭委員になった息子は、コロナ中でしたが とても良い経験ができたと言っていて嬉しかったです。</p> <p>今年もまた、委員になり今年度は例年通りの運動会、収穫祭が実施できることを願っておりますが、どのような形で生徒にとっては良い思い出になると思いますので、生徒の活動のサポートをよろしく願い申し上げます。学校生活を楽しんでほしいと思います。</p> <p>コロナ感染者を出さない対策は、素晴らしいかと思いますが、それを重視するあまり、生徒の活動の機会が縮小され、残念でした。もっとアグレッシブな代替案が欲しかったです。</p> <p>コロナによる制約の中、行事の開催に努力いただき感謝しています。当然社会情勢を勘案しながらになるでしょうが、今年度は平時に想定している行事開催を極力お願いします。</p> <p>大学は多くの対面授業が再開されキャンパスが賑わっているとのことですので、志木高の生徒も収穫祭や研修旅行等の大事な行事をフルに体験できる状態に戻れるよう願っております。</p> <p>今年はぜひ、親も見学に参加できたらと 少し期待をしております。</p> <p>体育の授業よりイベント感があるので緊張感が緩み、感染対策に少々不安を感じたとのことでした。クラスマッチをしたことにより より一層クラス団結ができたと思います。3年間という短い学校生活の中で貴重な経験だと思い、実施して下さったことに感謝いたします。</p> <p>見学旅行についても、可能な限り、平時並みの運用再開していただきますよう、お願い申し上げます。</p> <p>体育館での志木演説会も受講したことがありますが、HR教室での受講は、机があるのでメモを取りやすくとても良かったです。また、zoomでの受講ではコメント機能での質問がいつでも可能で、質問しやすかったのもとても良かったです。コロナ対策としてだけでなく、オンラインでの受講は、講師の方が世界中のどこにいても大丈夫なので、選択の幅が広がると思います。今後も有意義な志木演説会を期待しています。</p> <p>臨機応変に対応してください、部活でのコロナ感染者が出なかったことに感謝いたします。</p>	

学 校 自 己 評 価					2021年度 評 価 (2022年3月31日現在)		
2021年度 目 標					2021年度 評 価 (2022年3月31日現在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	
4	ホームページ等で情報を有効に発信し、学校行事、学校施設等を開放するとともに、本校生徒が小学校、中学校、養老施設等を訪問し、交流を図る。	家庭、地域社会に対する積極的な情報の発信、オープンキャンパスの実施、生徒の積極的な地域活動への参加	・各委員会の連携と内容の充実	・教員会議において活動状況の情報共有化と協力体制を図る。	<p>【広報活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> 『学校案内2022』を刊行した。 公式ウェブサイトおよびFacebook・Twitterのアカウントを引き続き活用し、情報の提供に努めた。 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、PTA総会は中止、学校説明会はオンラインによる開催となった。なお、保護者会についても7月は中止とし、12月は学年単位で時差開催とした。 新型コロナウイルス感染症の感染予防措置として、対面での学校見学・学校説明会は実施できなかったが、外部イベント予約サイトを新規に活用しつつ、昨年度に続いてオンデマンド形式での学校説明会を実施した。 2011年11月より、モニタリングポストを設置し、放射線量計測を自動化するとともに、計測値をウェブ上で誰もが見られるような形にして、情報公開を継続中である。 入試については、今年度より新たに外部インターネット出願サイトおよび可否確認サイトを利用した入学試験を実施し、受験生・保護者の利便を図った。 自己推薦入試の1次・2次試験の合格発表および一般・帰国生入試の1次・2次試験の合格発表を昨年度に引き続き、ウェブサイトでも行なった。いずれもアクセス集中に対応するため、本校ウェブサイトとは別に合格発表用サイトを作成した。 <p>【授業に絡めた地域理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種小論文コンクール等への参加や出品を、積極的に行った。 <p>【クラブ活動を通じた地域交流】</p> <ul style="list-style-type: none"> ワグネル・ソサイエティー男声合唱団は12月、特別養護老人ホーム「草加キングスガーデン」及び「川口キングスガーデン」において、入所者、ご家族、職員の皆様のための「クリスマス会」に参加した。新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、録画による演奏と、団員からの応援メッセージを多くの方々にご覧いただいた。 ワグネル・ソサイエティー男声合唱団は、2022年3月23日（水）に三芳町文化会館コビスみよしにおいて第14回定期演奏会を開催した。コロナウイルス感染症対策をしっかりと行った上で、約200名の観客にお越しいただいた。 器楽部が「第23回定期演奏会」（3月21日、志木市民会館）を開催する予定であったが、諸般の事情により一般公開中止を判断、部員と保護者のみでの催しとして開催した。 <p>【学校行事を通じた地域交流】</p> <p>【学校施設を利用した地域交流】</p> <ul style="list-style-type: none"> 例年、近隣（志木市、朝霞市、新座市）在住の方々を対象とした校内自然観察会を5月と9月の2度開催しているが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため、2回とも中止とした。 例年、近隣小学校および保育所に本校の敷地を一部開放し、どんぐり拾い等の行事に供しているが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった。 年に数回近隣のラグビースクールにラグビー場を使用してもらっているが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止とした。 <p>【学校いじめ防止基本方針に基づく取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> いじめ防止基本方針に基づく調査を実施し、教員会議において複数回議論を行なった。また、今年度も学校自己評価と併せて校内掲示にて周知した。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 公式ウェブサイトにおいて、クラブ活動の戦績紹介・活動報告等をより積極的に行えるよう、仕組みづくりを検討する。 各種コンクール・コンテストなどへの個人・グループでの応募を積極的に奨励していく。 OBや一般市民向けの本校教員による公開講座実施などの可能性の検討が望まれる。 本校の恵まれた自然環境を生かして地域にオープンにしていく工夫を学校全体として議論していきたい。将来的にはなるべく早く多目的棟を建設し、本校が地域の文化的拠点となるような方向で設備を整理していくことを考えるべきである。 学校施設の地域社会への開放について、今後も検討を行う。

学校関係者評価	
実施日	2022年5月7日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<p>前年度中止となった総会や、評議員会など、zoomやclassroom(meet)の活用をご検討下さいますようお願い申し上げます。</p> <p>様々な取組に敬意を表します。今後、コロナ状況が緩和されると緩和されたがゆえに、各高の判断・自主性が問われることとなりますので、例えば、対面とオンデマンドの併用などのバランスについても、これまでの参加者の意見も参考にしながらご検討のほど、お願い申し上げます。</p> <p>学校の各種活動に対する地域からの理解・協力が必須。コロナ禍にて各種定例化していた地域とのかわりが相当部分中止されたものと推測します。これから、授業でも、クラブ活動、生徒会活動でも、これらの再構築につながるよう意識していただきたいです。</p> <p>御指導いただいている吉川先生や一部生徒の皆さんの涙を見て、合唱にとってコロナでの思うようにならない期間の辛さ悔しさが伝わってきました。合唱はとても上手で素晴らしいです。伝統あるワグネル合唱団が歌えないことによる部員の減少で消滅してしまわないように、入学式や新入生歓迎会での合唱の披露が、生歌が不可能な状況では録画でもよいので、できることをお願いしたいです。どうぞよろしく申し上げます。</p> <p>状況次第ですが、極力早期に再開いただきたいです。</p>	